

## 潜在力生かし魅力的な街に

### 若手起業家 山鹿 直子さん

「経営環境として理想的だった」ー。2013年5月に太田市富沢町にセレクトショップ「ハローマーケット」を開設したデザイナーの山鹿直子さん(42)は、起業の地をこう評価する。都内と比べて十分な店舗スペースを確保できる上、日帰りで東京への服の買い付けも可能だからだ。「じっくりと地固めしながら経営を軌道にのせることができた」と振り返る。

山鹿さんは山口県出身。文化服装学院(東京)でパターンの描き方などを学んだ。都内の婦人服企画製造会社で人気ブランド「grin(グリン)」を立ち上げた経験がある。夫で社長の雅明さんとの結婚を機に、同市に移住した。15年から展開する自社ブランド「to touch」の販路は全国に広がった。

「地域の潜在力は高いが生かせていない」との思いから昔ながらの市内の飲食店を無償でプチプロデュース。老若男女が集まりやすい店に生まれ変わらせた。「お金をかけない小さな変化を重ねるだけでもっと魅力的な街になる」。山鹿さんの太田でのチャレンジは新たな局面に入った。

